

留学報告書
～かけがえのないアメリカ生活～

ミドルテネシー州立大学
国際文化学部（長期）

私は2024年8月17日から2025年5月12日までアメリカのテネシー州にあるミドルテネシー州立大学に長期留学をしました。このアメリカ留学は私にとって最も大きな挑戦であり、そしてかけがえのない素敵な経験になりました。

海外に行くこと自体が初めてで、そして名古屋学院大学から留学するのが私一人だけだったこともあり、初めはとても不安でした。私は大学の授業が始まる1週間前にアメリカに到着しました。空港には昨年同じ大学に留学した先輩が紹介してくれたアメリカ人の友達が迎えに来てくれ、夜中の便だったにもかかわらずスムーズに入寮することが出来ました。寮には想像していた以上に何もなく、ベットもフレームと固いマットレスのみで、トイレットペーパーすらも備えてありませんでした。1日目はタオルケットをかけて寝ましたが、次の日にすぐに買い物に連れて行ってもらいました。授業が始まるまでの1週間はインターナショナルウィークでオリエンテーションを始め、留学生向けのイベントが毎日開催されました。そこで他国からの留学生や、正規留学している日本人学生、そして日本人留学生をサポートしてくれる現地学生など様々な人と出会うことが出来ました。

ミドルテネシー州立大学では他の多くの協定校とは違い、全ての授業が現地の学部授業です。留学生向けの授業ではないので、内容も専門的でスピードもとても早いです。初めは復習と予習で精一杯で、授業もほとんど聞き取れませんでした。アメリカは課題を中心に内容を進めて、授業時間ではディスカッションやプレゼンテーションをして理解を深めるというスタイルの授業が多かったです。そのため課題がとても多く、毎日のように課題に追われていました。3カ月を過ぎたあたりから自分の英語力の成長を実感するようになり、授業中も徐々に発言できるようになっていきました。英語自体を授業を通して学びたかった気持ちはありますが、学部授業を履修できたことで得たものは沢山ありました。様々な学部の授業を履修していたので沢山のクラスメイトと出会い、刺激を受けました。国際文化学部では学べないような、ファッションやコミュニケーションの授業は内容自体もとても面白いものでした。そして実際のアメリカの授業では、日本の記憶力に重点を置く学びとは違い、考えることに重点を置く学びを経験しました。思考力は点数として明確化することは難しいですが、自分の身になる学習だと思いました。なにより専門用語を学べたことはもちろん、ハイレベルな英語に触れて自分の英語力を確実に向上させることが出来ました。

テネシー州でも最大規模の大学であり、広大なキャンパス内で数多くのイベントが開催されました。その中でも移動式遊園地が設置され、無料で観覧車や空中ブランコに乗ったことは貴重な経験でした。他にも最新映画を無料で観賞したり、ダンスを踊ってフリーフードを食べたりするイベントもありました。各組織やクラブが毎日のようにイベントを開催していて、どこに行っても暖かく歓迎してくれました。私はインドとネパールの組織が共同で開催した HOLI というイベントに参加しました。HOLI とは春の訪れを祝うヒンドゥー教のお祭りでカラフルな粉や水を全身にかけ合って、マンゴーラッシーを飲みました。初めての経験でしたがとても楽しく、本場の HOLI にも行ってみたいと思いました。

私は2学期間を通して日本クラブとバトミントンクラブに参加しました。日本クラブは日本語を勉強する火曜日と、アクティビティを通して文化を経験する金曜日の週2日活動していました。日本語を教えたり、日本の文化を英語で説明したりすることはとても楽しかったです。そしてクラブに来る日本に興味を持っているアメリカ人と沢山友達になることが出来ました。バトミントンクラブはコーチと部長が日本人ということもあり、アジア圏からの留学生や日本学部の学生が沢山いました。友達と話すのもとても楽しかったのですが、週に1度体を動かしてリフレッシュできるいい時間でした。

授業がない平日の休みは図書館で勉強したり、友達と買い物に行ったり、ジムで運動したりしていました。大学の図書館は午前2時まで空いていて寮からも近かったので、よく深夜まで友達と話しながら勉強していました。休日は基本的に友達と遊んでいました。アメリカでしかできないことを沢山経験させて貰いましたが、中でも好きだったのは州立公園を回ってハイキングをすることでした。アメリカの自然は日本とは規模が違い、心を癒してリフレッシュすることが出来ました。いくつかの国立公園にも足を運ぶことが出来ました。その迫力に本当に感動しました。機会があれば他の国立公園にも行ってみたいと思います。

アメリカはキリスト教徒の割合が高く、6割以上の友達はキリスト教を信仰していました。日本人の大半は宗教を信仰しないので、初めは宗教とどのように向き合っていくべきか分かりませんでした。しかし、教会で行われた数多くのイベントはとても楽しく、私がキリスト教徒ではないにもかかわらず温かく迎え入れてくれました。私は未だ無宗教ですが、キリスト教の考え方に従いお酒や喫煙を控える考え方に感激しました。この留学を通して宗教自体が身近なものになったと感じています。

この長期アメリカ留学は想像していたよりも遥かに私の人生にとってかけがえのないものになりました。日本ではバイトに明け暮れる毎日でしたが、アメリカでは学びの楽しさを実感し、人と過ごす時間を大切にすることが出来ました。沢山の時間を共有することで自分とは違う生き方や考え方に触れることが出来て、刺激にもなりました。留学中は毎月目標を設定して、月末に達成できたか振り返りをしていました。日本では気づけばあっという間に

1 年が終わっていたように感じます。ですが、留学していた期間は自分と自分の人生に向き合い、そして周囲の人や家族にでさえ、ゆっくりと時間をかけて向き合うことが出来ました。楽しいことばかりではなく授業や人間関係で悩んだことや苦しかったことも沢山ありました。しかし困難を乗り越える度に人として成長出来ていると実感できました。この経験を経験として終わらせるのではなく、今後に活かしていきたいです。

